

一般 X 線撮影 間接変換 FPD 装置

仕様書

公立大学法人和歌山県立医科大学

1 調達物品の構成内容と必要な仕様

機器名：一般 X 線撮影 間接変換 FPD 装置

一式

(内訳)

数量

1	平面検出器搭載型 カセッテ型デジタル X 線装置 FlowG77	4 枚
2	平面検出器搭載型 カセッテ型デジタル X 線装置 FlowG47	1 枚
3	平面検出器搭載型 カセッテ型デジタル X 線装置 FlowC12	2 枚
4	一般 X 線撮影立位臥位兼用撮影台	1 式
5	立位撮影台	2 式
6	臥位撮影台	1 式
7	その他	1 式

2 その他の必要条件

- 1 障害支援体制
- 2 設置条件
- 3 その他

3 入札機種のうち医療用具に関しては、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の承認を得た物品であること。

1 調達物品の構成内容と必要な仕様

1-1 平面検出器搭載型 カセット型デジタルX線装置 FlowG77

- 1-1-1 FPD は GOS を用いた間接変換方式であること。
- 1-1-2 FPD は鮮鋭度向上のため X 線照射側（おもて面）からデータを読み取る構造であること。
- 1-1-3 FPD の TFT 基盤は耐衝撃性を考慮し、フィルムタイプであること。
- 1-1-4 FPD は最大撮影サイズが 16.7×16.8 インチ以上であること。
- 1-1-5 FPD の読み取り画素サイズは 150 μ m 以下であること。
- 1-1-6 FPD の読み取りグレーレベルは 16bit 以上であること。
- 1-1-7 撮影後 2 秒未満でプレビュー画像が表示できること。
- 1-1-8 IEEE802.11n に準拠した無線運用方式を採用していること。
- 1-1-9 FPD はバッテリー着脱方式もしくは内蔵方式であること。バッテリーが取り外せない FPD の場合は予備バッテリー枚数分の FPD を用意すること。
- 1-1-10 バッテリー充電器は最大 2 枚以上のバッテリーを同時に充電できること。
- 1-1-11 外形寸法は 460×460×16mm 程度であること。
- 1-1-12 重量は 3kg 程度であること。
- 1-1-13 全面耐荷重 310kg 程度、スポット耐荷重 160kg 程度であること。
- 1-1-14 本体の撮影面にセンターを示す LED を搭載していること。
- 1-1-15 起動時にユーザー操作なしで、X 線照射を行わない自動キャリブレーションを行うこと。
- 1-1-16 X 線自動検出機能を有すること。
- 1-1-17 FPD 本体に内蔵メモリを搭載し、画像処理ユニットなしで撮影および画像の一時保存が可能であること。
- 1-1-18 FPD 本体表面に抗菌コートを施しており、衛生的に取扱うことができること。
- 1-1-19 IP5X の防塵に準拠していること。
- 1-1-20 IPX6 の防水に準拠していること。

1-2 平面検出器搭載型 カセット型デジタルX線装置 FlowG47

- 1-2-1 FPD は GOS を用いた間接変換方式であること。
- 1-2-2 FPD は鮮鋭度向上のため X 線照射側（おもて面）からデータを読み取る構造であること。
- 1-2-3 FPD の TFT 基盤は耐衝撃性を考慮し、フィルムタイプであること。

- 1-2-4 FPD は最大撮影サイズが 13.8×16.8 インチ以上であること。
- 1-2-5 FPD の読取り画素サイズは 150 μ m 以下であること。
- 1-2-6 FPD の読取りグレーレベルは 16bit 以上であること。
- 1-2-7 撮影後 2 秒未満でプレビュー画像が表示できること。
- 1-2-8 IEEE802.11n に準拠した無線運用方式を採用していること。
- 1-2-9 FPD はバッテリー着脱方式もしくは内蔵方式であること。バッテリーが取り外せない FPD の場合は予備バッテリー枚数分の FPD を用意すること。
- 1-2-10 バッテリー充電器は最大 2 枚以上のバッテリーを同時に充電できること。
- 1-2-11 外形寸法は 460×385×15mm 程度であること。
- 1-2-12 重量は 3kg 程度であること。
- 1-2-13 全面耐荷重 310kg 程度、スポット耐荷重 160kg 程度であること。
- 1-2-14 本体の撮影面にセンターを示す LED を搭載していること。
- 1-2-15 起動時にユーザー操作なしで、X 線照射を行わない自動キャリブレーションを行うこと。
- 1-2-16 X 線自動検出機能を有すること。
- 1-2-17 FPD 本体に内蔵メモリを搭載し、画像処理ユニットなしで撮影および画像の一時保存が可能であること。
- 1-2-18 FPD 本体表面に抗菌コートを施しており、衛生的に取扱うことができること。
- 1-2-19 IP5X の防塵に準拠していること。
- 1-2-20 IPX6 の防水に準拠していること。

1-3 平面検出器搭載型 カセット型デジタル X 線装置 FlowC12

- 1-3-1 FPD は高感度な CsI を用いた間接変換方式であること。
- 1-3-2 FPD は鮮鋭度向上のため X 線照射側（おもて面）からデータを読取る構造であること。
- 1-3-3 FPD の TFT 基盤は耐衝撃性を考慮し、フィルムタイプであること。
- 1-3-4 FPD は最大撮影サイズが 11.7×9.7 インチ以下であること。
- 1-3-5 FPD の読取り画素サイズは 150 μ m 以下であること。
- 1-3-6 FPD の読取りグレーレベルは 16bit 以上であること。
- 1-3-7 撮影後 2 秒未満でプレビュー画像が表示できること。
- 1-3-8 IEEE802.11n に準拠した無線運用方式を採用していること。
- 1-3-9 FPD はバッテリー着脱方式もしくは内蔵方式であること。バッテリー

ーが取り外せない FPD の場合は予備バッテリー枚数分の FPD を用意すること。

- 1-3-10 バッテリー充電器は最大 2 枚以上のバッテリーを同時に充電できること。
- 1-3-11 外形寸法は 330×280×15mm 程度であること。
- 1-3-12 重量は 2kg 程度であること。
- 1-3-13 全面耐荷重 310kg 程度、スポット耐荷重 160kg 程度であること。
- 1-3-14 本体の撮影面にセンターを示す LED を搭載していること。
- 1-3-15 起動時にユーザー操作なしで、X 線照射を行なわない自動キャリブレーションを行うこと。
- 1-3-16 X 線自動検出機能を有すること。
- 1-3-17 FPD 本体に内蔵メモリを搭載し、画像処理ユニットなしで撮影および画像の一時保存が可能であること。
- 1-3-18 FPD 本体表面に抗菌コートを施しており、衛生的に取扱うことができること。
- 1-3-19 IP5X の防塵に準拠していること。
- 1-3-20 IPX6 の防水に準拠していること。

1-4 一般 X 線撮影立位臥位兼用撮影台

- 1-4-1 1 台の撮影台で、立位・臥位両方の撮影を行えること。また、安全のために電動昇降機能で臥位ポジションに移れること。
- 1-4-2 長尺撮影実施前や、長尺立位臥位のポジション変更時に、FPD の抜き差し、運搬作業が不要なこと。
- 1-4-3 X 線管球の位置に関わらず、立位、臥位それぞれに最適な距離で撮影するため、撮影台そのものを移動できること。
- 1-4-4 立位長尺撮影、立位前屈長尺撮影、立位側屈長尺撮影、側臥位長尺撮影、臥位長尺撮影に、対応できること。
- 1-4-5 撮影部サイズは、高さ 1405mm 以下、幅 690mm 以下であること。
- 1-4-6 撮影部の昇降、展開操作は、支柱の左右両側で操作できること。
- 1-4-7 立位撮影時、撮影中心位置は、床面より 760mm～1420mm 程度の範囲で動かすことができること。
- 1-4-8 立位ポジションでは、撮影部を右回転 45 度から左回転 90 度の範囲の自由な角度で回転できること。
- 1-4-9 臥位撮影時、天板は床上 225mm 程度であること。
- 1-4-10 臥位撮影時の天板の耐荷重は、180kg 程度であること。

- 1-4-11 CALNEO GL1 を搭載できること。
- 1-4-12 FPD の通信ケーブルを、装置に内蔵できること。

1-5 立位撮影台

- 1-5-1 受像部の昇降は、手動式と電動昇降の両方に対応していること。
- 1-5-2 電動昇降機能では、上昇または降下ボタンを長押しすると昇降スピードが加速すること。
- 1-5-3 受像部の昇降操作は、支柱の左右両側で操作できること。
- 1-5-4 フットスイッチで電動昇降機能が操作できること。
- 1-5-5 撮影中心位置は、床面より 350mm～1700mm 程度の範囲で動かすことができること。
- 1-5-6 受像部位置に合わせ、X線装置の天井走行の上下位置を自動的に調整できる仕組みを持つこと。
- 1-5-7 受像部サイズは、高さ 565mm 以下、幅 590mm 以下であること。
- 1-5-8 撮影領域上端から顎乗せまでの距離は、30mm 以下であること。
- 1-5-9 撮影領域下端から撮影部下面までの距離は、95mm 以下であること。
- 1-5-10 患者が触れる撮影面は、清掃を容易にするためフラットであり、段差や隙間が無いこと。
- 1-5-11 グリッドは、ユーザーが簡単に取り外し、交換できること。
- 1-5-12 受像部のカセットトレイは、指はさみ防止のためにソフトクローズタイプになっていること。
- 1-5-13 CALNEO Flow G77 を搭載できること。
- 1-5-14 カセット DR の通信ケーブルを、装置に内蔵できること。
- 1-5-15 胸部正面撮影などに使用できるサイドつかまり棒が、撮影部両側にあること。
- 1-5-16 胸部側面撮影などに使用できる撮影部上側つかまり棒が装置に取り付けられること。
- 1-5-17 上部つかまり棒は電動で操作することができ、撮影部と連動、非連動のいずれも選択でき、上側つかまり棒を動かさずに撮影部だけ昇降することができること。

1-6 臥位撮影台

- 1-6-1 フットスイッチで電動昇降機能が操作できること。
- 1-6-2 ハンドスイッチでの電動昇降機能操作に対応できること。
- 1-6-3 天板の昇降範囲は、床上 370mm～850mm 程度であること。

- 1-6-4 X線管保持装置の上下動に連動して臥位撮影台の撮影部が自動で上下する仕組みを有すること。
- 1-6-5 天板の耐荷重は、150kg 程度であること。
- 1-6-6 天板サイズは、2100mm×810mm 程度であること。
- 1-6-7 天板の長手方向のストロークは、1000mm 程度であること。
- 1-6-8 天板の幅手方向のストロークは、250mm 程度であること。
- 1-6-9 天板水平移動時に、長手、幅手個別にロック解除が選択でき、一方向のみに動かすことができること。
- 1-6-10 センターロック機能を有し、天板上の中心マークを撮影中心に簡単に合わせることができること。
- 1-6-11 グリッドは、ユーザーが簡単に取り外し、交換できること。
- 1-6-12 受像部のカセットレイは、指はさみリスク軽減のためにソフトクローズタイプになっていること。

1-7 その他

- 1-7-1 患者移動用マット、ラクラックス 180cm×55cm 程度を 1 台用意すること。
- 1-7-2 撮影用の補助具として、JN 式ポジショニングブロックをフルセットで 1 式用意すること。
- 1-7-3 撮影用マーカのクリアタック、R と L を各 20 個用意すること。
- 1-7-4 X線撮影テーブル（適合参考物品：三共医療機社製）、SA-A（キャスター付）を 1 式用意すること。

2 その他の必要条件

2-1 障害支援体制

- 2-1-1 納入物品に障害が生じた場合、復旧のための迅速な対応が行えること。
- 2-1-2 障害時対応として、修理部品が用意されていること。
- 2-1-3 サービスエンジニア体制が整っていること。

2-2 設置条件

- 2-2-1 納入期限は、令和 9 年 3 月 31 日（水）とする。
ただし、納入日時は、担当者の指示に従うこと。
- 2-2-2 納入場所は、附属病院中央棟 2 階中央放射線部とする。

- 2-2-3 納入物品は、最新機、未使用であること。
また、後継機種が発売された際は、納入物品等について事務局経理課と協議し、その指示に従うこと。
- 2-2-4 既存品を引き取ること。
- 2-2-5 指定納入場所への設置に関する調整、既存機器との接続の作業及び既存品引き取り並びに稼働にあたり必要な物品の調達は全て契約金額内で行うこと。
- 2-2-6 設置にあたっては既設構造物の保安維持管理には特に注意し、万一損傷を与えた場合は、速やかに責任を持って処理し、原型に復すること。また、当学職員、第三者に危害を与えた場合は誠意を持って対処すること。これらに要する費用は、すべて設置者の負担とする。
- 2-2-7 調達物品の搬入、搬出、据付、配線及び調整は当学の診療業務に支障をきたさないよう当学の職員と協議の上、その指示に従うこと

2-3 その他

- 2-3-1 日本語の取扱説明書を提供すること。
- 2-3-2 取扱説明に関する導入時の教育訓練を、当院担当職員に対し十分に行うこと。また、取扱説明、教育訓練及び支援等を納入後1年間は随時対応すること。教育訓練等の実施に関する日程調整や回数については、当院担当職員と協議し決定すること。
- 2-3-3 品質保証期間は、納入日から令和10年3月31日（金）とする。
- 2-3-4 適合参考物品
 - 品 名：一般X線撮影 間接変換 FPD 装置
 - 型 番：CALNEO
 - メーカー：富士フイルムメディカル株式会社
- 2-3-5 同等品は、可とする。
ただし、適合参考物品以外で応札する場合は、令和8年10月30日（金）までに事務局経理課あて同等品であることを証明する書類（カタログ等を含む）を提出し、規格等の各項目についてその性能・機能、仕様書との相違点等を十分明らかにすること。令和8年11月6日（金）までに、事務局経理課から同等品としての承認又は不承認の回答をする。
- 2-4-6 仕様書に関する質問がある場合は、令和8年10月30日（金）ま

で下記へ書面により行うこと。

公立大学法人和歌山県立医科大学事務局経理課（担当：田村）

〒641 - 8510

和歌山市紀三井寺 8 1 1 番地 1

TEL 073 - 441 - 0721(直通) / FAX 073 - 441 - 0706